

第1回 周防大島町学校跡地施設利用検討委員会（旧安下庄中学校）会議録（要約版）

1 日 時 令和3年10月27日（水）13時30分から15時45分まで

2 場 所 橘総合センター 研修室3

3 出席状況 欠席者なし

4 資 料

- (1) 学校統合に伴う廃校舎等利活用募集要項
- (2) 廃校舎等利活用募集にかかるQ&A
- (3) 周防大島町学校跡地施設利用検討委員会設置要綱
- (4) 学校配置図及び平面図
- (5) 事業計画書等

5 内 容

- 会議については、応募者の管理運営に関するノウハウ等が含まれているため、非公開とすることに決定した。
- 応募者からの事業説明、質疑応答後に意見集約を行った。

6 質疑応答

(1) A者

(委員) 校舎、体育館も大きなものでネックになるのが光熱費、特に電気代。今までの活動で年間200万円ほどかかっていたがその辺をどう考えているかという質疑。

(A者) 今まで学校が払っていた光熱水費を参考にして出している。中国電力に協力してもらって体育館の上に太陽光発電の設置を計画している。

(委員) 同じ内容で3校応募している。安下庄中学校だけでもやるのか、他の2校だけでもやるのかという質疑。

(A者) やる。

(委員) 費用対効果、稼働率、人員をどれくらいでみているかという質疑。

(A者) 資料を出している。コロナ時期の延長で少し低めに出している。

(委員) 事業収支計画のとおり本当に人が来るのか、どういう方法で集客するのかという質疑。

(A者) SNSで発信しようと思う。

(委員) 農泊とはという資料は御社が作ったものかという質疑。

(A者) これは農林水産省のもの。一番わかりやすいのがこれだと思った。

(委員) いろんなメニューがあって楽しそうだが、キャンプやスポーツの団体、エキスパートの方を把握しているかという質疑。

(A者) 地元の人たちをリサーチ、聞いて回ってできますという人がいれば。地域の人優先で考えている。

(事務局) 初期投資費用、運転資金をどこから調達するのかという質疑。地域住民の使用、避難所としての利用についての質疑。

(A者) すぐ明け渡す。場所は提供する。資金は金融機関からの借入れを打診している。交付金に

については資料にあると思うが、農山漁村振興交付金。交付金の内容について説明。

(2) B者

(委員) どのように生徒を集めるか、どれくらいの比率で島内、島外から募集しているのか、将来的にその辺のところをどう考えているかという質疑。

(B者) 現在、本校に占める町内中学生が4～5割。町内の中学生がどんどん減っていくので、来年見込まれる入学者、現在希望者を募っているが定員90人に対して20人いくかいかないか。本校は山口県内で唯一全国から募集できる学校。地域未来留学という制度を利用して、年間5、6回全国に向けて情報発信をしている。8月と10月にオープンキャンパスを開いたところ、全国から28名。北海道、東京、埼玉、岐阜いろいろなところから本校に来たいという話がある。島外の生徒が1回目のオープンキャンパスで100人、2回目35名、合わせて135名が本校に興味を持っているという現状。島内はどんどん減っていくが、島外、県外からの生徒を広く募集していく。

(委員) グラウンドは陸上部のみを考えているのか。この前の体育祭は密になるどころか入るところがなかった。弓道部やアーチェリー部を安下庄中学校でという考えはあるのかという質疑

(B者) 広く、安全を重視して、もし利用できることになれば更なる利活用を検討していきたい。

(委員) 体育館はママさんバレーが使っているが、週1回程度使えるようにお願いしたいという意見。

(委員) 大きな学校なので、高校の第2の校舎、体育館、グラウンドとして使っていただくのは地域としてもありがたい。集中管理の空調のため1部屋使うにも経費がかかる。個別空調にするにも相当改修費がかかる。来年の4月から入るのではなく、4月から改修に入るというイメージかという質疑。

(B者) 状態がいい施設が残っているので、ただちに改修する予定は無い。これからの活用の中でいろいろ考えていきたい。令和4年4月から発表の場として使うとか、部活の練習で使うとかあると思う。

(委員) グラウンドは非常に狭いのでこちらと棲み分けをしたらいいと思う。野球部はこっちに来ないのかという質疑。

(B者) 野球部の雨天練習場をどこにするか検討している。さっき第2の体育館という話もあったが、場合によっては野球の試合が近いとき等は雨天練習場として使いたい。グラウンドも同じように7限まで授業をやって向こうに移動してナイターであまりできないときがある。場合によってはこっちで練習できるような環境を整えていければと思っている。

(委員) 新しいメニューをやるのではなく、今やっている授業を充実させるため、施設不足を補うということかという質疑。

(B者) 現時点ではそうだが、今後さらに活用ができることがあれば、今提示していないこともどんどん検討していきたい。

(委員) 学校として使うのが一番有益。卒業生のUIターンの将来の地域の活性化など地域への貢献についての質疑。

(B者) 昔の運動会は地域の方もたくさん来て、出店もあった。今のあの狭い中では絶対できない。できれば小中高、地域のみなさんで集まって運動会なりいろんな行事をできればと考えている。体育館も使って同じように行事を行っていきたい。

(委員) 寮が不足しているという話がある。寮として利用する考えはあるのかという質疑。

(B者) 寮については、大改装をしないとイケない。公式には言えないが、別の案が動いている。1ヶ月以内には公式に案内できると思っている。それが公になればそれを目指して生徒も来てくれるのではと考えている。

(委員) 花火大会のときにグラウンドを駐車場として借りている。そのときはご協力いただけるかという質疑。

(B者) 今まで使われているところは大いに解放したい。

(委員) もしここが使えるとなると3校舎体制になる。いっそのこと安下庄地区の2校舎でという考えも持っているのかという質疑。

(B者) 将来的には3校舎より2校舎の方がいいと思っている。教員、生徒の移動の負担を考えるとすぐそばで全ての部活動ができるのが望ましい。福祉専攻科をこちらに移転するには、クリアしなければならない難題がいくつかあるのでそれを解決しながら将来的にはこっちに来て、福祉専攻科のプランと合わせてやっていければと思っている。実際、地域創生科の福祉コースと福祉専攻科の連携ができない状態。

(B者) グラウンドに今あるトイレが使えないので壊して、役場の支所の近くに新たにトイレを設置する。そうすると余計グラウンドが狭くなる。当面資材置き場で使えなくなる。来年度からの使用をお願いしているが、もしこれが叶った暁には前倒しで使わせていただければ助かる。

(3) C者

(委員) 校舎の一部だけの利用かという質疑。

(C者) 介護が必要な方は2階、3階に上がれない。要支援の方であれば上がれるかもしれないが、最初は1階部分、続いて2階部分を考えている。利用者が増えたり、認知症カフェのような場所を作る場合は必要な教室は増えてくる。段階的に一部から全体に拡大していければと思っている。最初の段階から全部を使ってというのは難しいが、成長してうまく展開できれば全体を使いたい。

(委員) 何教室でスタートするかという質疑。

(C者) 体育館側の3教室。

(委員) ニーズとして入浴サービスが欠かせないが計画に無い。入浴サービスはしないのかという質疑。

(C者) まずはリハビリからスタートと思っている。入浴サービスや食事の提供、デイサービスのよなことをすることも大事。段階的にやっていけると思う。まずはリハビリをすることで介護度を上げないということに繋がる。

(委員) 町の高齢者のニーズは入浴、食事、送迎という意見。利用が決まれば、先生は周防大島に帰って来てくれるのかという質疑。

(C者) 家族が代々続けていくことが周囲が一番納得できるやり方だと思う。ただ、島のクリニックが減っていく理由の中に、後継者がいなくなる。戻ってもその次誰がやるのかという問題が出てくる。だから、福岡の診療所と法人の提携をして、仮に私がいなくなったとしても誰かができる体制、人が循環するそういう仕組みを作った方が半永久的に診療、介護ができると思う。私がお場にいらなくても成り立つような仕組みにしたい。

(委員) 介護や医療の現場は従事者、スタッフが不足しているので事業の展開が厳しくなっている状態。福岡の診療所と提携すれば福岡の方からこっちにスタッフが来てくれるのかという質疑。

(C者) はい。もちろん自分たちの理念に共感してくれる方で島に住みながら勤務したいという方が

いればそういう方も一緒にやっていきたいと思っている。

(委員) 初年度の収支計画の中にC者の医師が専任するとあるが、〇〇先生もしくは福岡から別の先生が来て常に医師がいるということか、また、理学療法士、介護士の雇用が新たに生まれるのかという質疑。

(C者) 基本的には周防大島の方で働ける方、参加してくれる方がいれば一番いい。ただ、それを指導する人や補填しなければということになると福岡から派遣したいと考えている。

(委員) 福岡から派遣となった場合、住民票はこちらに移すのかという質疑。

(C者) もちろん。希望を募った上で、生活をしながらやってもらえる方がいれば。実は土居の方で住めるような部屋を借りている。

(委員) 入浴、食事サービスは当分行わないとのことだが、送迎も行わないのかという質疑。

(C者) 記載が不十分だったが、送迎はやらないといけないと思っている。

(委員) 安下庄中学校を使えない場合は断念するのか、あるいは自前で施設を設けてやるのかという質疑。

(C者) 廃校利用の話があったので、学校だったので人が集まったりする場でインパクトもあるので是非学校を使わせていただきたい。

7 ヒアリング後の意見集約

- A者は計画性が無く、実現性、継続性が低い。資料も外部のものをそのまま使っている。質問をしたが、資料を提出しているという回答でさらに深い質問ができなかった。
- B者はこの上ない提案で学校教育として使えるのが一番いい。若い人が多い方が地域も活性化する。
- C者は一部利用だが、大きな校舎で電気代等基本料金はそのままかかる。学校を使うのではなく他の施設を活用する方がいい。やってもらいたいので町から他の施設を提案してほしい。